

# 大崎第一中学校の統廃合について問う

## どうあるべきかも一度考えて判断したい



小園 孝一 議員

### 在り方検討委員会の機能は

校区民は大方反対しているその理由を、どのように受け止めているのか。在り方検討委員会は、正常に機能していたのか。

### 在り方検討委員会 は6回の会合を 開催

#### 教育長

平成二十年一月二二日の第1回から、同年九月十一日の最終回まで、6回の会合を開催した。研修視察、意見交換、学校の設置場所、通学方法

学校活性化のための小中一貫校に関する意見など出たが、結論としては、中学校統廃合については、やむを得ないと委員の意見の一致をみた。



大崎第一中学校

### 二十五年四月統 廃合するのか

#### 小園議員

今年一月十八日の説明会で、初めて多くの住民

### 議会だよりや、町 報等で広報した

#### 町長

十九年六月議会で一般質問等があり、議会だより、町の広報などで何回か知らせている。在り方検討委員会から、各学校等へ情報提供をして欲しいとの事で、資料等も渡してある。

### 地区活性化が 進みつつあるが

#### 小園議員

地区民はもう少し延ばしてくれとお願ひしている。今、野方小学校近くに定住化促進事業で土地の造成、インターチェン

### 地域活性化対策 と統廃合は一線を 画す

#### 町長

活性化対策と中学校の統廃合は一線を画して考えるべきであり、地域の活性化の動向を見守る間にも生徒は卒業する。少しでも早く統合を実現してよりよい教育環境で学校生活を送らせる事が、私の努めであると強く認識している。

### 自然災害について 安心安全であるべ きだが

#### 小園議員

整備指針の中で学校の環境という事について洪水、高潮、津波、崖崩れ、雪崩、地滑り等の自然災害にも安心安全でなければならぬと書いてある。大崎中学校に統合すれば、

### おおよそ安全であ ると捉えている

#### 町長

先般の防災講演会において、津波が五メートル、一〇メートル、十五メートルの時に、どの地域まで影響を受けるのかのシミュレーションからして、大崎中学校については、おおよそ安全と捉えている。

### 時期尚早、納得す るまで遅らせるべき

#### 小園議員

野方地区は、第一中を中心に地域の方々が集まり、いろいろな催し物の企画や、ボランティアでの交流など、子どもたちと地域のつながりが非常に強い、地域と共に子どもたちを育てている地区である。時期尚早であるという地区民の陳情をくみ、じっくりと行政と地

区住民が話し合い、議論し納得するまで学校統合を遅らせるべきだが。



地域住民との共同作業

### 検討委員の意見を 伺い判断する

#### 町長

二千二百の署名は非常に重みがあり、また、学校の在り方検討委員会の答申も非常に重みがある。学校の在り方検討委員であった中沖・菱田地区の分館長やPTA会長等に報告し意見を伺い、自分としてもどうあるべきか、もう一度考えて判断したい。